

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2025年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。

2 競技場の使用について

- (1) ウォーミングアップ場は、パロマ瑞穂北陸上競技場の競技に支障の無い場所・レクリエーション広場及び名古屋市立豊岡小学校（2日目のみ）とする。ただし、棒高跳・砲丸投の練習については、競技開始前に各ピットで競技役員の指示によって行う。また、各練習場の練習については以下を原則とするが、状況などにより変更する場合もある。競技役員の指示に従うこと。ただし、投てき物を使った練習は禁止する。
- (2) 競技場のトラックは、出場競技者に限り、7:30より入場できる。また、大会準備に支障のない範囲で、26日（土）・27日（日）共に朝のウォーミングアップの時間帯は9:45まで使用できる。
- (3) パロマ瑞穂北陸上競技場は全天候舗装なのでスパイクの長さは9mm以内とする。
ただし、走高跳は12mm以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクの数は11本以内とする。
（競技規則TR 5.2 参照）
- (4) 更衣は、更衣室を利用する。更衣のみに利用し、荷物は置かないこと。貴重品は各自で管理すること
- (5) 救護本部はパロマ瑞穂北陸上競技場内1階医務室に設置する。

3 競技者の招集について

- (1) 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前
棒高跳	70分前	60分前
混成競技	最初の種目：上記該当種目と同様 2種目以降：トラック 15分前現地 フィールド 20分前現地	

- (2) 招集の手順

- ①招集所は、全種目第三コーナー付近の北側倉庫一か所に設ける。
- ②競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にアスリートビブスの確認を受ける。また、携帯電話や通信機器および音楽再生機器等は持ち込めない。
- ③他の種目に出場しているなど特別な事由がある場合は、本人による2種目同時招集（先に招集を行う種目の招集時に、もう1種目の招集を行う）を認めるので、競技者係に申し出ること。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。
- ⑤四種競技者は、最初の種目のみ招集所で（3）の①に従い競技者係の点呼を受ける。2番目の種目からは、現地で混成競技係の点呼を受けること。なお、フィールド種目は、競技開始時刻の20分前まで、トラック競技は、競技開始時刻の15分前までに現地に集合すること。

- (3) 2種目を同時に出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、無効試技とみなす。

4 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の準決勝以降とフィールド競技の決勝については、主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンはあける。
- (4) 計時方法は写真判定（1/100秒）とする。
- (5) タイムによる決勝進出者の決定について、同記録（1000分の1）があり、レーン数が不足するときは、抽選（競技規則TR 21）を行う。抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスより10分以内に本部へ集合する。進出決定者の発表は、アナウンス・大型映像および

スタンド正面階段上の掲示板で行う。

- (6) 5組1着+11で行う予選は、+11のうち上位3名をA決勝とする。4位から8位をB決勝とする。
+11に入った選手のタイムが、各組の1着の記録を上回っても、入れ替えは行わない。ただし、同記録の場合、写真判定で着差があれば着順を決定する。着差がない場合は該当者の抽選により進出者を決定する。また、異なる組の中で2着と3着が同タイムの場合は、2着の競技者（チーム）を優先する。
- (7) 本競技会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施する。（競技規則TR16.6.7）
ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。（競技規則TR39.8.3を適用）
- (8) スタートの合図は英語とする。（「On Your Marks」「Set」）
- (9) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。メンバー変更については、競技規則TR24.11を適用する。オーダー用紙は招集所で用意する。
- (10) リレーのすべてのラウンドにおいて、リレーの申し込みの有無にかかわらず、低学年・共通リレーのどちらかにしか申し込み及び出場することはできない。競技規則TR24.10に該当するメンバー外の選手が出場する場合も同様とする。
なお、それぞれのリレーに申し込みのあった6名以内の競技者は、申し込みをしたリレーにしか出場できない。
- (11) リレー競技においては、同一ユニフォームを着用すると定められているが、ユニフォームのタイプを選手が選択することができる。デザインや配色が同一であれば問題ない。（競技規則TR5.1）
- (12) リレー競技のマーカーの使用は1ヶ所とする。また、マーカーは主催者側が用意し、審判員が配付する。また、各チームが用意したマーカーを使用してもよい。（競技規則TR24.4を適用）
ただし、使用したマーカーはそのチームで処理すること。
- (13) 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (14) 男子3000mはグループスタートとする。
- (15) 走高跳、走幅跳の予選については、2ピットで行う（日程参照）。ただし、競技場の条件、出場人数によっては、1ピットで行う場合もある。
- (16) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示によって行うこと。
- (17) 競技者に対する助力については、競技規則TR6.3の項を適用する。

5 競技場の入退場について

- (1) 係員の指示があった場合は、その指示に従って行動すること。
- (2) 選手誘導は予選・決勝共に行わない。
- (3) 入退場は、南北出入り口とする。競技役員の指示に従うこと。

6 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは配付されたままの大きさとユニフォームの胸・背部に確実につける。
なお、跳躍種目（四種競技の走高跳含む）の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
- (2) トラック競技（800m以上）に出場する競技者は、招集時に腰ナンバーカード標識を貸与する。ランニングパンツ左右の上部やや後方につけること。（招集時に受け取り、競技終了後は直ちに係に返却する。）

7 予選通過標準記録について

フィールド競技の予選通過標準記録は次のとおりとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
男子	1 m 8 5	4 m 0 0	6 m 6 0	1 3 m 3 0
女子	1 m 6 0	—	5 m 4 0	1 2 m 5 0

上記の種目で予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者は、競技規則TR25.22、TR26.8、TR26.9を適用する。

なお、予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により変更されることがある。

8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

(1) 予選

	練習	1	2	3	4	5	6	7
男子走高跳	1.55/1.75	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	—
女子走高跳	1.35/1.50	1.39	1.44	1.49	1.54	1.57	1.60	—
男子棒高跳	フリー	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	4.00

① 練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。

(2) 決勝

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1.65/1.79	1.70	1.73	1.76	1.79	1.82	1.85	以降3cm
女子走高跳	1.40/1.54	1.45	1.48	1.51	1.54	1.57	1.60	以降3cm
男子棒高跳	フリー	3.20	3.40	3.60	3.80	3.90	4.00	以降10cm
女子棒高跳	フリー	2.00	2.20	2.40	2.50	2.60	2.70	以降10cm
男子四種走高跳	1.35/1.55	1.40	1.43	1.46	1.49	1.52	1.55	以降3cm
女子四種走高跳	1.20/1.40	1.20	1.23	1.26	1.29	1.32	1.35	以降3cm

① 走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。

② 第1位、東海中学総体出場者を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmきざみとする。

③ 練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。

9 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用することができる。

10 表彰について

(1) 各種目の表彰は、競技終了後に行う。8位までの入賞者は競技役員の指示に従い、表彰まで待機すること。ただし、リレー種目との重なりがある場合は、代理人による表彰を認めるので、表彰係まで申し出ること。

(2) 各種目（OP四種競技含む）の第1位に賞状・優勝バッジ、第2位から第8位までに賞状を授与する。

(3) 総合の部優勝団体に賞状・優勝旗・盾を授与する。準優勝校に賞状・盾を授与する。第3位～第6位の学校に賞状を授与する。

(4) 上記(2)については、各競技終了後の種目表彰の中で、(3)については閉会式の中で行う。

11 商標について（詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」による）

(1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守ること。

① 上半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。製造会社の表示は1ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は40cm²以内とする。

② 下半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積20cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のものを1ヶ所とする。

③ バッグ・・・製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は25cm²以内のものとする。

(2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

12 開始式・閉会式について

- (1) 開始式：9：00より放送で実施。ただし、全選手の集合・整列は行わない
- (2) 閉会式：全競技終了後に実施する。総合入賞の表彰のみ行う。
該当校選手は、優勝校3名、準優勝校2名、3位～6位の学校は1名は、本部前に集合すること。

13 その他

- (1) 記録の発表について
アナウンスとで発表する。また、掲示も行う。
なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時間とする。
- (2) 応援について
 - ① 競技の妨げになるような応援は禁止する。担当役員の指示に従うこと。
 - ② メインスタンドでの集団応援は禁止する。
 - ③ フィールド競技進行中は、メガホンなどを使用した応援や、集団応援は禁止する。
- (3) 応援横幕・のぼり旗などの設置は禁止とする。
- (4) パロマ瑞穂北競技場のテント及びシートの設置については、指定された区域のみとする。(シート固定のテープは養生テープのみとする。
また、競技場内のテント・シート設置は禁止する。
選手待機場所として、パロマ瑞穂アリーナを使用することができる。指定された場所を厳守すること。
- (5) ゴミは各自持ち帰りを原則とする。

14 入場規制について

- (1) 本大会は、観戦に対する入場規制を行わない。
ただし、選手及び監督、保護者の入場に関しては以下の通りとする。

【選手の入場】

- ① 入場する際に、アスリートビブスを提示すること。
- ② 1日目は、参加競技者が多いため、競技開始の2時間30分前を目安に競技場に入場すること。
- ③ 2日目は、競技場の入場時間の制限は設けない。

【監督・保護者の入場】

- ① 外階段よりスタンドへ入場すること。
- ② 競技場内への立ち入りは禁止とする。
- ③ 収容スペースの関係上、入場できない場合がある。

【カメラマン】※事前に申請があった業者のみ

- ① 正面玄関より入場すること。
- ② ビブス着用のもと撮影を許可する。
- ③ 入場希望者は、事前に担当者へ連絡すること。(大高中学校：052-623-1557 下里 功大まで)

※全国大会の標準記録を突破した選手の団体の顧問の先生もしくはクラブチームの関係者の方は、全国大会受付(北陸上競技場西側スタジオ)で担当者より必要書類を受け取ってください。

該当する団体の顧問の先生もしくはクラブチームの関係者は、7月27日(日)の県総体終了後(延期された場合は28日)に、パロマ瑞穂宿泊研修室(パロマ瑞穂北陸上競技場向かいの建物3階)において監督会議を行うので、必ず出席してください。東海大会についても監督会議を行うので、お集まりください。

※会場の都合上、各団体お一人の参加でお願いいたします。また2部制で行う可能性があります。

全国大会の申し込み関係、宿泊、当日までの流れについての説明を行います。事前に配付した資料をお持ちください。